

経営比較分析表（令和5年度決算）

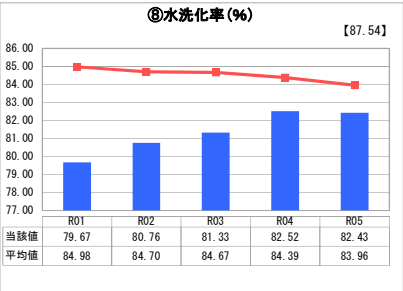
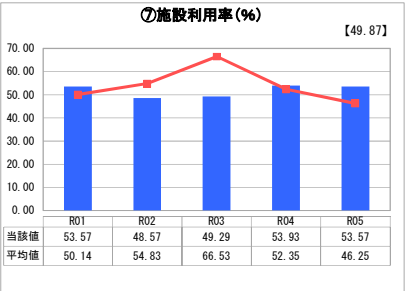
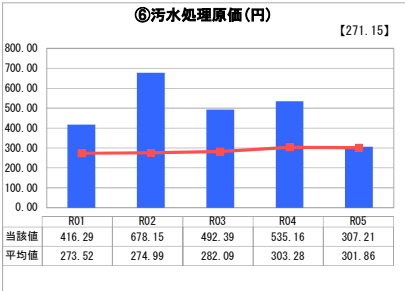
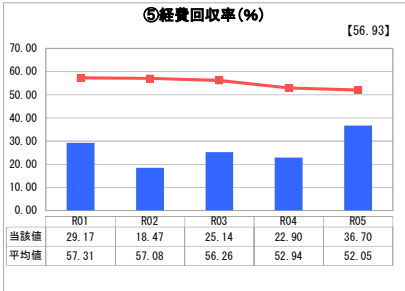
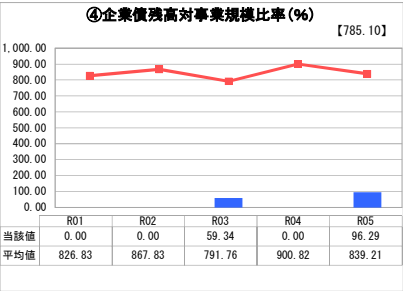
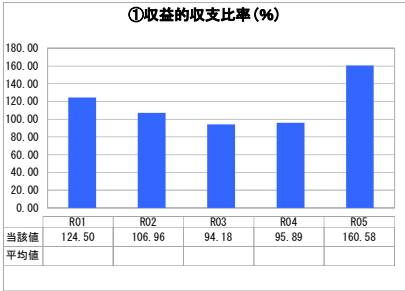
宮城県 大郷町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	9.07	87.27	2,255

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
7,584	82.01	92.48
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
683	0.69	989.86

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は160.58%となっているが経費回収率が36.70%と多少の改善がみられるが以前として低く、使用料以外の経費に依存したのとなっている。類似団体の平均を下回っており、施設を適正な規模へのダウンサイジングなどの計画的な設備の更新などを図り、維持管理費の縮減に取り組む必要がある。

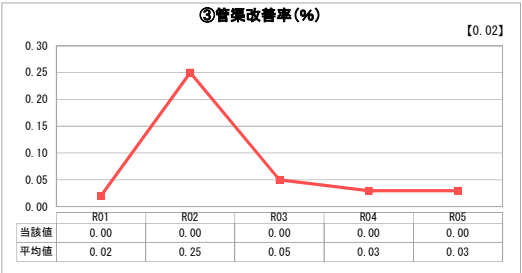
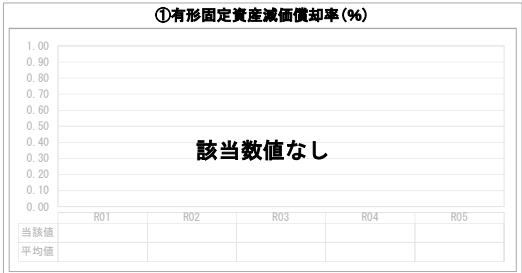
汚水処理原価については、前年度と比較し減少しており改善がみられるが、施設規模に対しての使用者の少なさは変わらず、接続率の向上を図り、年間有収水量を増やすなどの汚水処理費用の縮減を図っていく必要がある。

水洗化率は前年度とほぼ変化がないため、新規農業集排水利用者の増加について、加入促進の啓発活動など、引き続き水洗化率の向上による収益性の向上を目指す。

2. 老朽化の状況について

平成12年度に併用開始し22年経過、管渠の耐用年数は40年であるが、処理場やマンホールポンプ等の機械電気設備は法定耐用年数を超過してきているため、施設の効率的な更新計画を図っていく。

2. 老朽化の状況



全体総括

水洗化促進の取組を強化し、水洗化率の向上に努める。
施設の計画的な更新・修繕を行い維持管理費の削減を図る。
広域的視点に立ち、より効率の良い経営手法を検討する。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。